

# 充電ケーブルリール 取付・取扱説明書

- ・この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ・製品取付け前に本説明書をよくお読みの上、正しい取付けを行ってください。
- ・取付は専門の工事業者に依頼してください。
- ・ご使用中に気になる点がある場合は、そのままのご使用は避け、本書末尾記載のサポートデスクまでご相談ください。
- ・この取付・取扱説明書は大切に保管してください。
- ・本製品はトヨタホーム壁掛型充電器及び2016年秋モデル以降のトヨタPHV車の車載充電ケーブルが対象です。それ以外の充電ケーブルには対応しておりませんのでご注意ください。

部品番号

**JA610-D0600**

はじめに

## 安全上のご注意

施工、使用(操作、点検)の前に必ずこの説明書とその他の注意書きを全て熟読し、正しくご使用ください。製品の知識、安全の情報および注意事項の全てについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

 <b>危険</b>	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く恐れがある危険な状況を示します。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、軽傷または中程度の傷害を招く恐れがある危険な状況および家屋・家財などの損害が発生する恐れがある場合を示します。

●お守り頂く内容を次の図記号で区分しています。



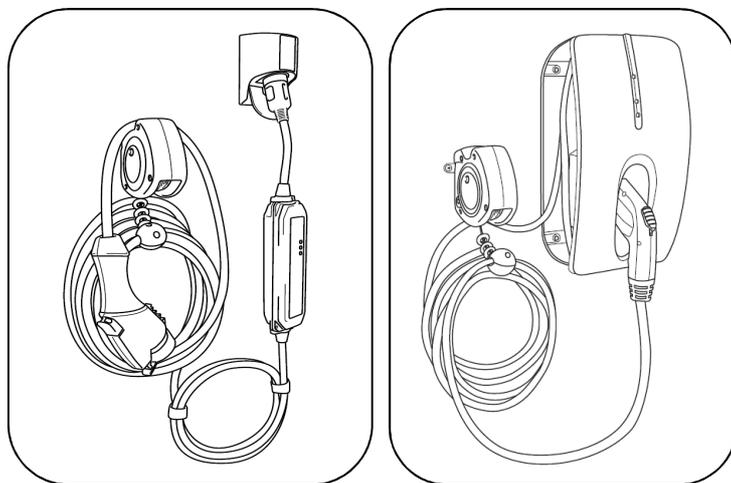
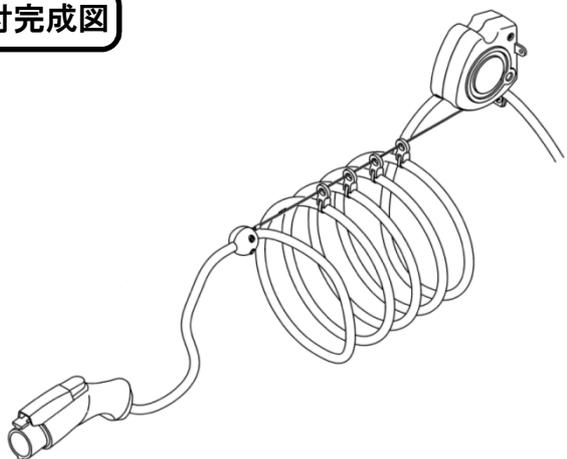
尚、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。



本製品は、既存の充電ケーブルに組み付けて充電操作の使い勝手を向上させるものです。車載充電ケーブルを使用する場合は、常設するために車載出来なくなりますのでご注意ください。

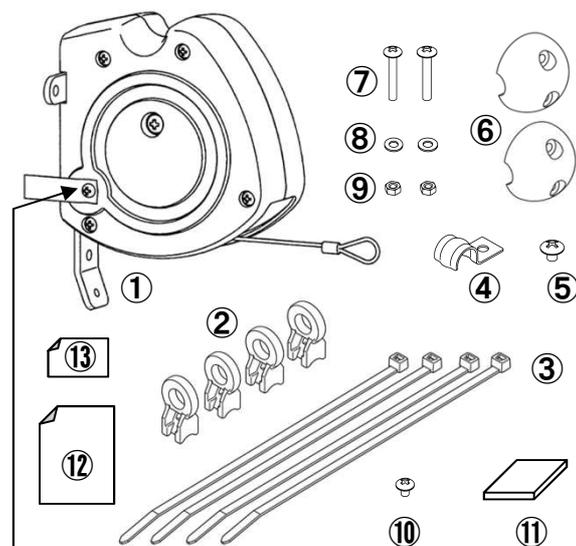
 <b>危険</b>		■濡れた手で充電ケーブルやコネクタ電極部及びプラグを触らないでください。感電する恐れがあります。
		
 <b>警告</b>		■製品の分解・改造は絶対に行わないでください。内蔵されたぜんまいばねが飛び出すことがあり大変危険です。
		■幼児や子供には絶対に触らせないでください。怪我をする恐れがあります。
		■製品の上に乗ったり、もたれかかったり、荷物などを置いたり、引っ掛けたりしないでください。
	■充電ケーブル及びワイヤーを引っ張って寄りかからないでください。充電ケーブルやワイヤーが抜けると転倒する危険があります。	
	■リール開口部には手や指を入れないでください。手や指が挟まれると大変危険です。	
		■充電コネクタや充電ケーブルに割れや欠けなど異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。
 <b>注意</b>		■海外ではご使用にならないでください。日本国内専用品です。
		■電気自動車の充電以外には使用しないでください。

## 取付完成図



## 構成部品

(作業に取りかかる前に構成部品の確認を必ず行ってください)

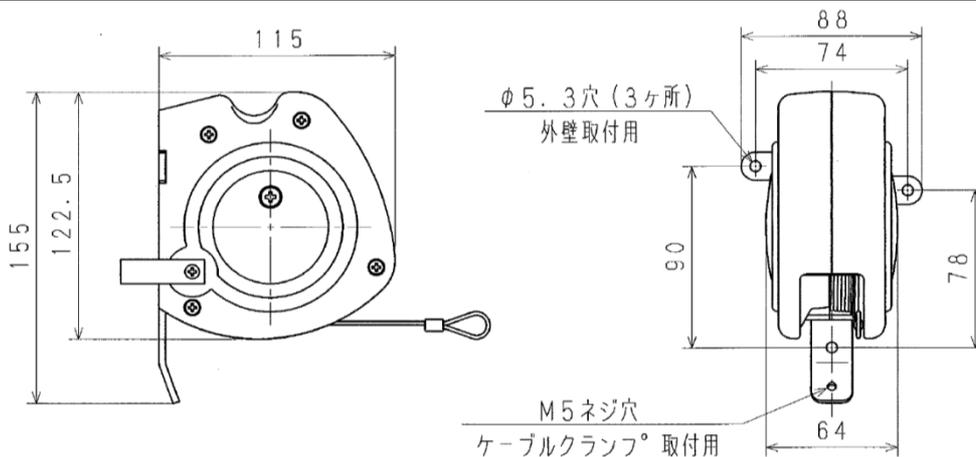


No.	部品名称	数量
①	リール	1
⑬	コーションラベル (リール包装袋に同封)	1
②	ワイヤーガイド	4
③	インシュロック (ガルバロックGL200)	4
④	ケーブルクランプ	1
⑤	M5x6mmトラスネジ (ケーブルクランプ④固定用)	1
⑥	ゴムストッパー (半球状)	2
⑦	M4x28mmトラスネジ (ゴムストッパー⑥固定用)	2
⑧	M4ワッシャ (ゴムストッパー⑥固定用)	2
⑨	M4ナット (ゴムストッパー⑥固定用)	2
⑩	M4x5mmトラスネジ (安全ストッパーネジ交換用)	1
⑪	スポンジゴムシート	1
⑫	取付・取扱説明書 (本書)	1

外壁等への取付用ネジは同梱しておりません。  
外壁等の仕様に合った適切なビスをご使用ください。

安全ストッパーネジ(ドラム回転止めネジ=付箋が目印): 施工完了後に⑩ネジと組み替えます。

## 製品概要



## 注意事項

- ・本製品は、最初の取付けの良否がその後の性能、耐久性および不具合の有無に大きく影響します。作業を始める前に、以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合および、事故等については責任を負いかねます。
- ・製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤を付けて落としてください。シンナー等の有機溶剤、酸、アルカリ等の使用は絶対避けてください。
- ・外壁等とリールの取付けに関する不具合については責任を負いかねます。
- ・本製品もしくは充電ケーブルの盗難については責任を負いかねます。

## 取付上の注意

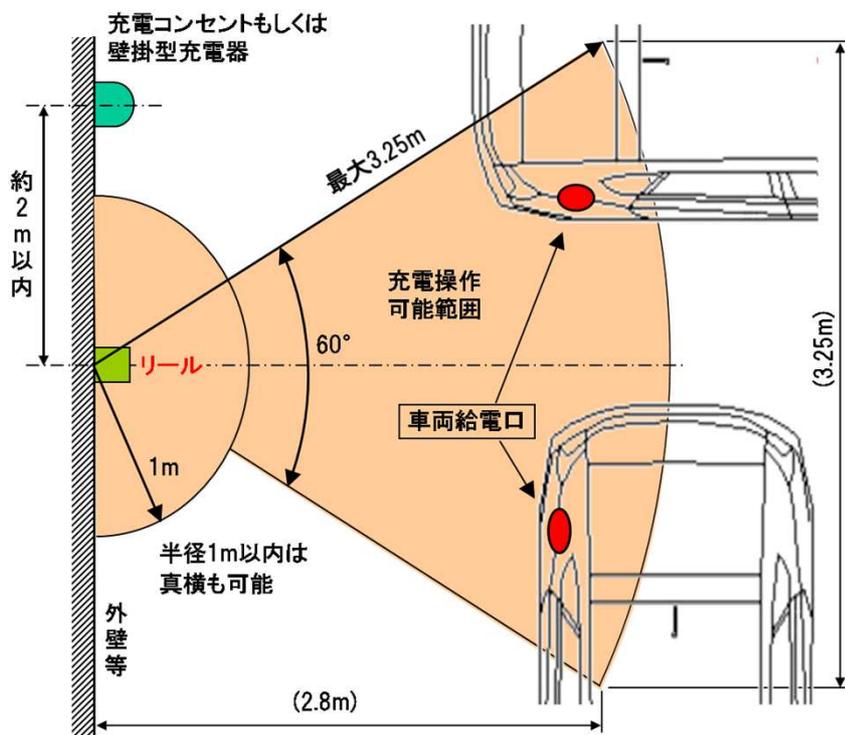
- ・本製品の設置は、専門の工事業者に依頼してください。その際、電設工事と併せて実施することを推奨いたします。
- ・設置にあたり、外壁や柱など充電ケーブルリールを固定できる平面を確保してください。また外壁等の仕様により設置できない場合があります。



- 施工は、取付説明書通りに正しく安全に行ってください。  
取付説明書通りに施工しないと正常に動作しない場合があります。
- 外壁等への取り付け用ネジは同梱しておりません。  
取り付ける外壁等に適したビスを使用して取り付けてください。
- 安全ストッパーネジは施工が完了するまで絶対に取り外さないでください。  
尚、出荷時は安全ストッパーネジによってリールは回転しません。

<b>危険</b>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 破損や傷のついた充電ケーブルを使用しないでください。 また、充電ケーブルをコンセントに差し込んだまま施工しないでください。 感電する恐れがあります。</li> </ul>
<b>警告</b>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品の分解・改造は絶対に行わないでください。 内蔵されたぜんまいばねが飛び出すことがあり大変危険です。</li> <li>■ 製品の上に乗ったりもたれかかったり、荷物などを置いたり、引っ掛けたりしないでください。</li> <li>■ 可燃性ガスや引火物の近くに設置しないでください。</li> <li>■ 取り付けの外壁/柱などは堅牢かつ平坦であることを事前に確認してください。</li> <li>■ トヨタ純正充電ケーブル及びトヨタホーム壁掛型充電器ケーブルのみ使用することができます。その他のケーブルは、発熱などの影響で使用できない場合があります。</li> </ul>
<b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ うねりが激しい充電ケーブルは使用しないでください。 ケーブルの伸縮が適切にできない場合があります。</li> <li>■ 補修で使用するインシュロックは、11ナイロン(PA11)製のものを使用してください。 (型番:ヘラマンタイトン社製ガルバロックGL200)</li> <li>■ 直射日光を避け、風通しの良い場所に設置してください。</li> <li>■ 土埃や砂などを巻き込まない場所に設置してください。</li> <li>■ 車両の往来がある場所などは、車両に充分注意して施工してください。</li> </ul>

## 設置場所 平面図



- 車両給電口の位置が充電操作可能範囲内に入るようにリールを設置してください。
- 充電コンセントもしくは壁掛型充電器からリール設置場所までの距離は約2m以内を目安とし、その際、充電コントロールボックスが無理なく垂直に垂れ下がることを確認してください。

## 必要工具

- ・プラスドライバー
- ・ペンチ(ラジオペンチ)
- ・インシュロック締結専用工具又はニッパ又はつめ切り
- ・メジャー
- ・マーカーパーン
- ・ビニールテープ

## 取付要領・手順

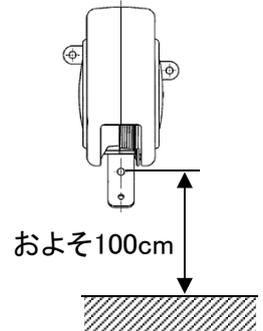
### 1 リールを外壁等へ取り付ける

- ・リール①を外壁等の仕様に適したビス3本で外壁等へ固定する。
- ・固定にはφ4mm以上φ5.1mm以下、首下長さが壁材厚さの2倍以上のビスを推奨します。
- ・地面からの推奨取付高さは、リール下側のネジ穴位置で、およそ100cm。



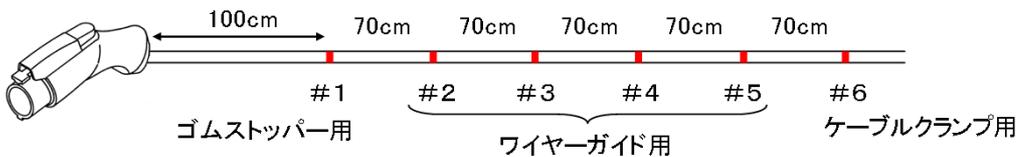
**注意**

- リールは垂直に取り付けてください。

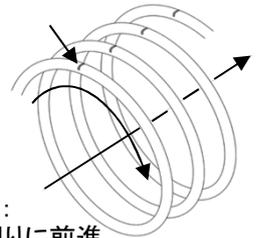


### 2 充電ケーブルにマーキングをし、カール状に巻く

- ・充電コネクタの根元から100cmの位置と、そこから70cm間隔で5ヶ所、計6ヶ所マーカーパーン等でマーキングする。
- ・ここでは、マーキング位置を充電コネクタ側から順に#1～#6とします。
- ・マーキング(#1～6)が同じ位置に来るように、ケーブルのねじれをほつきながらカール状に巻き取る。
- ・コンセント又は壁掛型充電器の位置がリールの右側であれば右巻き、左側であれば左巻きを推奨します。(取付完成図ご参照)
- ・右巻きとは、時計回りに前進する巻き方を言います。



マーキング



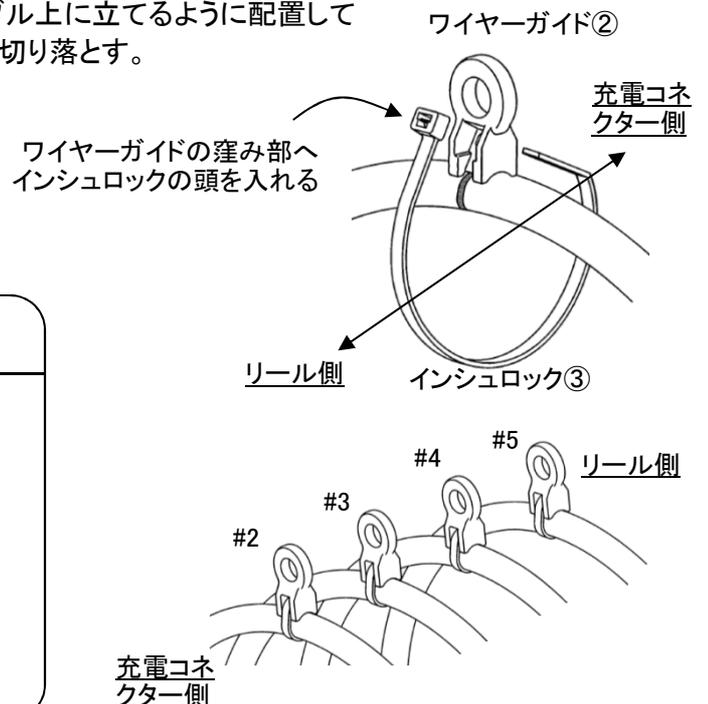
### 3 充電ケーブルにワイヤーガイドを取り付ける

- ・ワイヤーガイド②を#2～5までの4箇所1個ずつ充電ケーブル上に立てるように配置してインシュロック③でしっかり固定し、残ったインシュロックの帯を切り落とす。
- ・ワイヤーガイドは前後方向があるので注意。(ただし見栄えの違いのみで機能上の差はない)
- ・インシュロックの挿入方向には向きがあるので注意。
- ・締付・切断にはインシュロック締結専用工具が望ましいが、締付にはペンチもしくはラジオペンチを、切断にはニッパもしくはつめ切りを使用してもよい。



**注意**

- インシュロックを締め付ける時は、ワイヤーガイドが回転しない状態となるまで締め付けてから、余分な部分を切断してください。その際、充電ケーブルを傷つけないよう注意してください。
- ペンチを使用する場合は、最後にペンチをひねって1ノッチ分増し締めしてください。
- インシュロック切断時は切り残しが無いよう、根元から切断してください。
- また、切断部で怪我をしないよう注意してください。



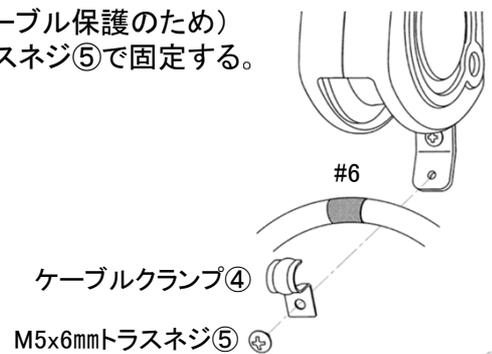
## 4 充電ケーブルをリールに取り付ける

- ・マーキング#6位置の充電ケーブル上にビニールテープを2周巻き付ける。(ケーブル保護のため)
- ・その位置をケーブルクランプ④を介してリール下部のブラケット部にM5x6mmトラスネジ⑤で固定する。  
締付トルクの目安は3.0~3.5N・m。



**警告**

- ビニールテープは所定の巻き数分を巻きつけてください。  
ケーブル被覆が破れて感電の危険があります。



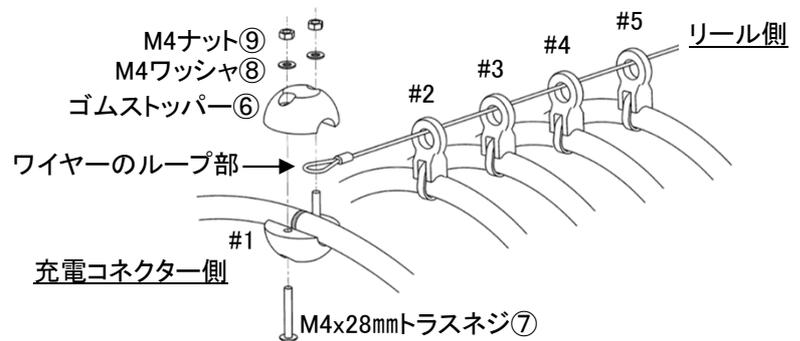
## 5 ワイヤーをワイヤーガイドに通して、ゴムストッパーに取り付ける

- ・ワイヤー先端のループ部をワイヤーガイドの穴に奥から手前へ#5→#4→#3→#2の順に通す。
- ・ゴムストッパー⑥にM4x28mmトラスネジ⑦2本を通し、マーキング#1の位置に配置し、リール側のネジにワイヤーループをかけてからゴムストッパーの残り半球を向い合せに被せ、M4ワッシャ⑧及びM4ナット⑨を使用してネジ締結する。



**注意**

- ワイヤーを折り曲げないように注意してワイヤーガイドに通してください。



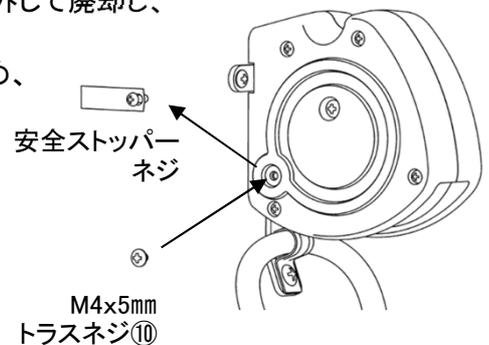
## 6 安全ストッパーネジを組み換える

- ・リール側面の安全ストッパーネジ(付箋が付いたM4x10mmなベ小ネジ)を取り外して廃却し、代わりにM4x5mmトラスネジ⑩で固定する。締付トルクの目安は1.1~1.3N・m。
- ・この時、リールのロックが解除されるとリールが勢いよく巻き戻って危険なため、ワイヤーもしくはゴムストッパーをしっかりと保持しながら作業してください。



**注意**

- 施工が完了するまでは、ドラムが回転しないようストッパーネジを緩めないでください。ネジが緩み更にロックが外れると、ワイヤーがドラム内に勢いよく入り込みリールが破損します。



## 7 充電コネクタを保持する

- ・ワイヤーを少し引いてリールのロックを解除し、充電ケーブルをリール側へ巻き取る。
- ・車載ケーブルの場合は、充電コネクタ根元のケーブルをリール上部の溝にかけて保持する。
- ・充電ケーブルが滑って充電コネクタが滑り落ちる場合は、スポンジゴムシート⑪をリール上部溝に貼り付けてください。
- ・壁掛型充電器の場合は、充電器本体に充電コネクタを戻してください。

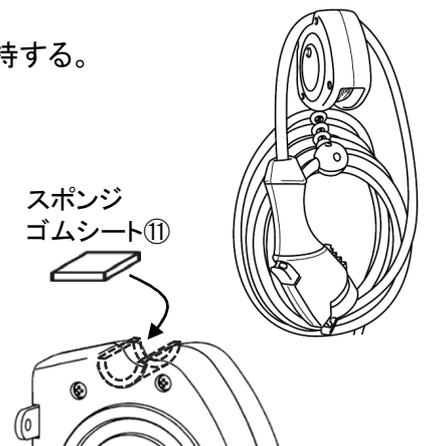
**注意**



- 充電ケーブルを強く引っ張ったり、ねじったり、無理な力を加えたり、しないでください。



- 車載充電ケーブルの余った部分は、φ200mm以上の径で巻いてください。小さく巻きつけると発熱して危険な場合があります。
- 壁掛型充電器の場合は、充電器本体に巻き付けてください。



使用上の注意

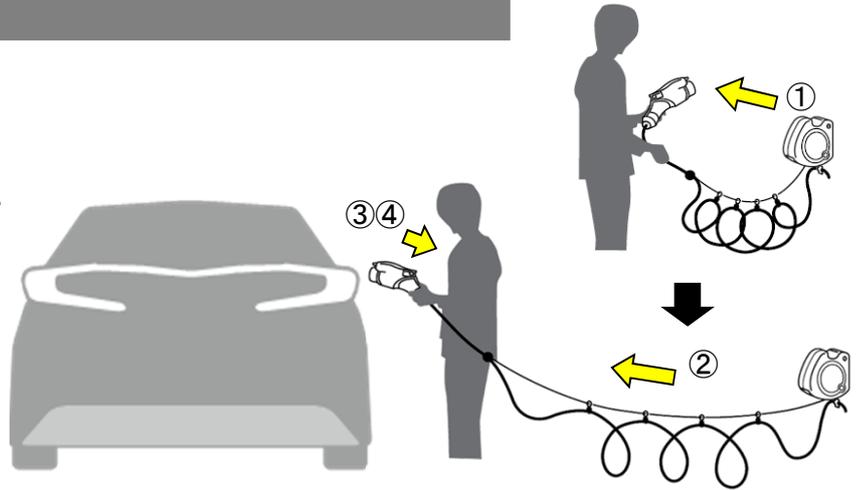
 <b>危険</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 台風などの強風、大雨時には充電操作をしないでください。 感電する恐れがあります。</li> </ul>
 <b>警告</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワイヤーガイドの穴に指を入れないでください。 怪我や骨折など危険です。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幼児や子供には絶対に触らせないでください。怪我をする恐れがあります。</li> <li>■ 充電ケーブル、ワイヤーを必要以上の力で引き出さないでください。 特にワイヤーをいっぱい引き出した状態ではそれ以上引かないでください。</li> <li>■ ワイヤーのみを引っ張って放さないでください。故障の原因になります。</li> </ul>
 <b>警告</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電コネクタを持ったまま後退りしないでください。転倒すると大変危険です。</li> <li>■ 充電ケーブル及びワイヤーを引っ張った状態でもたれかからないでください。 充電ケーブルやワイヤーが抜けると転倒する危険があります。</li> <li>■ 充電ケーブルを無理に曲げたり、充電コネクタを落としたりしないでください。 また、充電ケーブルやワイヤーを踏みつけないでください。</li> <li>■ 充電時、通行の妨げになることがあります。 特に、夜間など周辺が暗い場合は、転倒しないよう、足元など注意してください。</li> <li>■ ワイヤー(リール)をロックした状態で充電を行ってください。 また、充電ケーブルは長さに余裕を持たせて給電口に接続してください。その際、 駐車位置や引き出し量によっては、ケーブルが地面に接触することがあります。</li> <li>■ 雨の日は充電コネクタの電極部(先端内側)が濡れないように注意して 操作してください。また、車載ケーブルの場合は、使用後にきちんとキャップを はめて収納してください。</li> </ul>
	 <b>注意</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電ケーブル及びワイヤーの引き出しは規定の操作可能範囲内でご使用ください。 操作可能範囲を超えると、故障する可能性があります。</li> <li>■ 充電中のケーブル及びワイヤーに引っかかったりつまづいて転倒しないよう 注意してください。</li> <li>■ ゴムストッパーのネジ部、ワイヤーやワイヤーかしめ部で手や指を怪我しないよう 注意してください。また、車両ボディに当たらないよう注意してください。</li> <li>■ 充電ケーブルがねじれたら、ねじれをとってから収納してください。</li> <li>■ 充電ケーブルが低温や凍結で硬化している場合は、<math>40^{\circ}\text{C}</math>程度のお湯で温めて 解凍してから使用して下さい。その際、電極部にはかからないようにしてください。 火災・感電や故障の原因となります。</li> <li>■ リール内部に雨水等が多量に浸入し凍結すると、引き出し・巻き戻しができなくなる ことがあります。その場合は、<math>40^{\circ}\text{C}</math>程度のお湯で温めて解凍してから使用して下さい。</li> <li>■ 夏場など直射日光が当たる場所でご使用される場合、充電ケーブルなどの 温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</li> </ul>

## 使用方法

### 1 充電ケーブルを引き出す

- ① 充電コネクタを持って、
- ② 充電ケーブルを引き出す。
- ③ 引き出しを止めると、
- ④ 少し巻き戻ってリールがロックする(カチッ)。

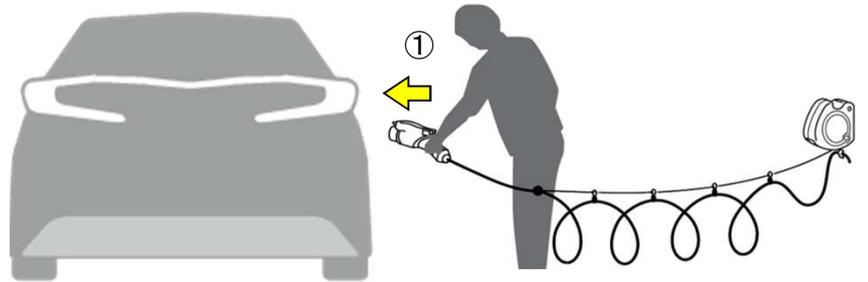
**ポイント!**  
車両給電口より少し先まで引くと、  
リールロックの際に少し巻き戻って  
ちょうど良い長さになります。



### 2 充電する

- ① 充電コネクタを車両給電口に差し込み、  
充電を開始する。

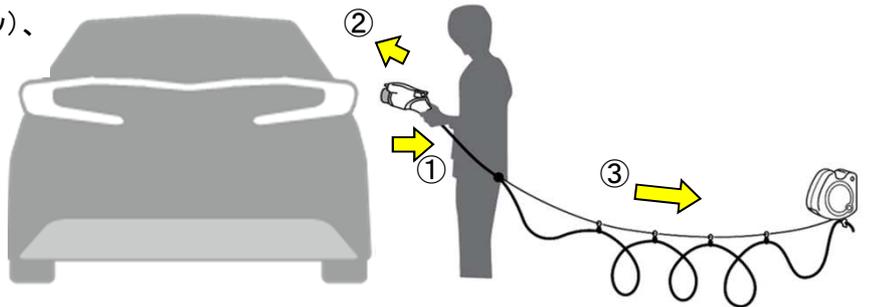
**ポイント!**  
リールロックにより巻き取り力が  
かからなくなりますので、  
ケーブルの損傷を防ぎます。



### 3 充電ケーブルを巻き戻す

- ① 車両給電口から充電コネクタを抜いて、
- ② 少し引っ張るとリールロックが解除され(カチッ)、
- ③ ワイヤーとともに自動で巻き戻る。

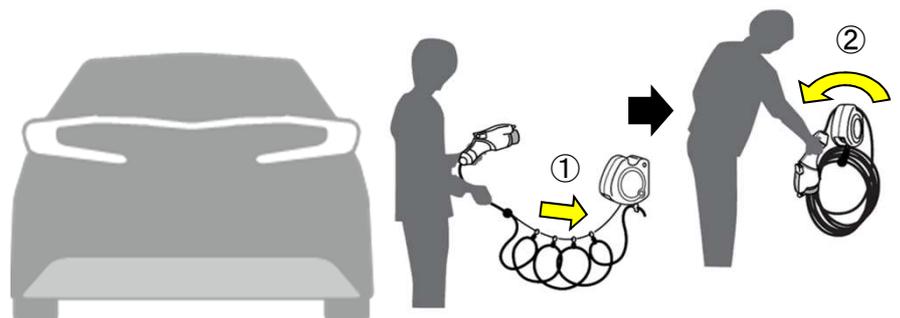
**ポイント!**  
リールに引かれるように歩いて戻ります。  
ゴムキャップを忘れずに被せてください。



### 4 充電コネクタを収納する

- ① 充電ケーブルがリールまで巻き戻ったら、
- ② 充電コネクタ根元のケーブルを  
リール上部の溝にかけて収納する。

**ポイント!**  
ポンッと置くだけです。  
きれいに巻き戻らなかった時は、  
軽く手を添えて整列させてください。



壁掛型充電器の場合は、  
充電器本体へ戻してください。

## お手入れ・点検時の注意事項

 <b>警告</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■製品に水や有機溶剤、家庭用洗剤などを直接かけて清掃しないでください。</li> <li>■高圧洗浄機は使用しないでください。 故障の原因になります。</li> <li>■リール開口部から工具や細い金属棒などを差し込まないでください。 故障の原因になります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■充電コネクタや充電ケーブルに割れや欠けなど異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。</li> </ul>
 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■積雪時は適宜除雪してください。</li> <li>■ワイヤーの折れ曲がり、ワイヤーガイドやワイヤーの著しい磨耗がないか確認してください。</li> <li>■ゴムストッパーやリール取付ブラケットなどのネジが緩んでいないか確認してください。 緩んでいたら適宜増し締めしてください。</li> <li>■ケースなど、乾いたきれいな柔らかい布でからぶきしてください。 なお、汚れがひどい場合は、布やスポンジに中性洗剤を含ませてから汚れをふき取ったあと乾いたきれいな柔らかい布でからぶきしてください。</li> <li>■動物などの糞尿が付着した場合は、中性洗剤で汚れを落とした後、乾いたきれいな布でからぶきしてください。</li> </ul>

## 製品仕様

	項目	仕様
製品概要	外形寸法(リール部)	長さ122.5x幅64x奥行き115mm
	製品重量(リール部)	690g
環境	設置環境	屋内および屋外
	使用環境温度	-10℃～40℃(氷結なきこと)
機能	ワイヤー引き出し長さ	～2.5m
	充電ケーブル引き出し操作力	～25N(気温25℃の場合)

## 保証とアフターサービス

保証期間：お客様ご指定の場所に納入後1年間

故障・修理については、下記のサポートデスクへお問い合わせください。

トヨタホーム充電関連サポートデスク



0800-777-1152

受付時間：9:00～17:30(年末年始を除く)

施工業者名

施工年月日 年 月

仕様など予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2016年9月

販売元：  
トヨタホーム株式会社

愛知県名古屋市東区泉1丁目23番22号  
http://www.toyotahome.co.jp

製造元：  
中央発條株式会社

愛知県名古屋市緑区字上汐田68番地  
http://www.chkk.co.jp